

**平成29年度 第52回 全国高等専門学校体育大会陸上競技
第52回 日本高等専門学校陸上競技対校選手権大会 実施要項**

1. 主催 一般社団法人全国高等専門学校連合会、公益財団法人日本陸上競技連盟
2. 主管 全国高等専門学校体育大会陸上競技専門部、一般財団法人長野陸上競技協会
長野工業高等専門学校
3. 後援 文部科学省、公益財団法人日本体育協会、
長野県、長野県教育委員会、公益財団法人長野県体育協会
松本市、松本市教育委員会、一般財団法人松本体育協会、一般社団法人松本観光コンベンション協会
信濃毎日新聞社、信越放送、長野放送、テレビ信州、長野朝日放送
4. 期 日 平成29年8月26日(土)・27日(日)、予備日8月28日(月)
5. 競技会場 松本平広城公園陸上競技場
〒390-1243 長野県松本市神林5300 電話:0263-57-2211 Fax:0263-57-0444
6. 競技種目 男子:18種目 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、4×100mR、
4×400mR、走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投
女子:11種目 100m、200m、800m、3000m、100mH、4×100mR、走幅跳、走高跳、砲丸投(4.0kg)
円盤投(1.0kg)、やり投
7. 競技規則 2017年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせによる。
8. 競技方法 (1)男女別学校対校とする(男女により得点対象種目・人数が違うので注意すること)。
(2)得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。同順位が複数(n)生じた場合は順位点の合計を(n)で除した得点とする。
(3)最多得点校を優勝とする。同点の場合の順位決定は上位入賞種目の多い学校を上位とする。
9. 参加資格 出場競技者は、2017年度日本陸上競技連盟登録者であり、かつ、各地区から選出された者に限る。
10. 出場制限 (1)監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、競技者は下記のとおりとする。なお、リレー種目は1チーム6名以内とし出場種目数から除く。リレーの交代は規則どおり全種目の出場者が対象となる。
(2)男子:下記(4)の種目を除き、各地区1種目3名(北海道地区は2名)、リレーは2チームと全国上位7チーム、一人2種目以内とする。なお、開催校(又は開催地区)出場枠は各種目1名(1チーム)とする。
(3)女子:下記(4)の種目を除き、各地区1種目2名以内とする。一人の出場制限は(4)の種目を含め3種目以内とする。リレーは混成チームを認める場合がある。混成チームは対校得点対象としない。
(4)ランキング種目については標準記録突破者で次のとおりの上位者とする。
男子 400mH 24名:59秒00、3000mSC 20名:10分30秒00、棒高跳 24名:3m50
女子 200m:29秒00、3000m:12分00秒00、100mH:19秒00、4×100mR:56秒00、走高跳:1m35、
円盤投:23m00、やり投:25m00、女子は各種目上位16名とする。
これらの男子3種目と女子7種目も対校得点とする。ただし得点対象競技者・種目(全体で一人2種目、1種目2名まで)を申し込み時に明記すること。その後の変更は認めない。得点は、上位8名に非対校得点競技者が含まれる場合は繰り下げて付ける。表彰の対象は上位8名とする。
(5)公認記録の有効期間について、リレー種目はその年度の4月1日以降最終の地区大会終了日までとし、これ以外の種目については前年の1月1日からその年度最終の地区大会終了日までとする。
(6)エントリーに関する注意事項

項 目	内 容
一人の出場種目数	男子は2種目以内、女子は3種目以内、 リレーはカウントしない、ランキング種目は種目数に含む
男女リレー種目	公認記録有効期間: H29年4月1日からH29年7月17日まで
リレー以外の種目	公認記録有効期間: H28年1月1日からH29年7月17日まで
最近の記録(エントリー)	H29年1月以降のシーズンベストの公認記録を記載すること
ランキング記録申請締切	H29年7月20日(木)13時。7月21日(金)にはweb上にランキングをUpする
エントリー締切	電子データ: H29年7月28日(金)18時
得点対象者	ランキング種目に3名以上出場する場合に、2名を指定する 女子競技者が3種目に出場する場合、2種目を指定する

※各ランキング種目対象上位者で、その種目に出場する意思のないものは、速やかに大会事務局まで、メールまたはFaxで連絡をすること。

11. 表 彰 (1)男女総合優勝校には、賞状及び文部科学大臣杯を授与し、2位～6位入賞校には賞状を授与する。
(2)各種目の1～3位入賞者には賞状とメダルを、4～8位入賞者には賞状を授与する。
(3)表彰式は、その種目終了後直ちに行う。

12. 参加料及び納入方法 選手1人当たり1,800円とする。参加料は参加申込と同時に、次の銀行口座へ納入すること。
 なお、既納の参加料は返還しない。
 振込口座 金融機関名：八十二銀行 吉田支店
 預金種別 普通預金
 口座番号 472895
 口座名 全国高専体育大会陸上競技事務局 (ゼンコクコウセンタイイクアケイケンヨウキョウギジムキョク)
13. 参加申込 (1) 申込期限：平成29年7月28日（金）必着とする。
 (2) 申込先：〒381-8550 長野県長野市徳間716 長野工業高等専門学校学生課内
 第52回全国高等専門学校体育大会陸上競技事務局
 TEL 026-295-7362、FAX 026-295-4950、E-mail：kyomu4@nagano-nct.ac.jp
 (3) 申込方法：7月28日（金）までにファイル名に高専又はキャンパス名を付けて大会事務局宛に電子メールで送信すること。選手の出場証明書については、校長印のあるものを7月28日までに上記大会事務局宛に郵送すること。同時に、日本陸連登録証明書を同封すること（2017年度日本高専陸上競技協会登録済みの競技者については省くことが出来る）。
 (4) その他：地区大会開催校は、決勝記録一覧表を7月28日（金）までに大会事務局宛に送信すること。
14. 監督会議 (1) 日時：平成29年8月25日（金）15時00分 開始
 (2) 場所：松本平広域公園陸上競技場会議室 ※1校2名以下で必ず教員を含んで下さい。
15. 競技組合せ 各種目の組合せは、日本陸上競技連盟の競技規則により、開催校(長野高専)事務局が長野陸上競技協会役員立ち会いのもと行う。その結果は直ちに各校へ通知する。
16. 選手の変更 不慮の事故や負傷のために出場不可能になった場合でも、選手の変更は認めない。
17. 開・閉会式 開会式：平成29年8月26日（土）9時15分予定
 閉会式：平成29年8月27日（日）14時30分予定（競技終了後）、競技会場において行う。
18. 宿舎 同封の「52nd全国高専陸上競技宿泊等申込書」にて担当者へ申し込むこと。
19. その他 (1) 棒高跳用ポール送付について
 同封の「ポール配送依頼書」に必要事項を記入しFAXにて「西濃運輸 配送専用マネジメントセンター」まで送付した場合、西濃運輸で往復便として取り扱う事が可能。ポール配送の流れ、費用についても同封の「ポール配送の流れ・料金表」を参照すること。 <「やり」は宅急便で送付可能である>
 《送付先》 〒390-1243 長野県松本市神林5300 松本平広域公園陸上競技場
 全国高専出場（あなたの名前を明記）宛 電話：0263-57-2211 Fax：0263-57-0444
 (2) 台風等の警報が発令された場合は、「全国高専体育大会における気象警報発令時の対応（H19.2.8）」および下記専門部申し合わせにより実施する。予備日は、8月28日（月）とする。
 (3) 競技申し合わせ事項、エントリーファイル等については別途連絡する。
 (4) ナンバーカードは、大会本部で用意する。
 (5) 競技中の負傷については、大会本部で応急処置するが、その後の処置は各校及び各自で行うこと。
 (6) 健康保険証は、各自で準備しておくこと。
 (7) 独立行政法人日本スポーツ振興センター所定の用紙を各校で持参すること。
 (8) 参加者の健康管理については、派遣校が全責任を負うこと。
 (9) 競技結果について、個人名や写真等をホームページ、高専陸上競技記録集、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通して上記大会事務局に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。
 (10) 「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。

【陸上競技専門部 全国大会開催申し合わせ事項】（H21年作成、H25、H27一部修正）

1. 警報発令時の対応は「臨時専門部会議」にて決定する。短縮タイムテーブルでの開催など。
2. 競技日程について、競技開始時刻、招集時間は開催校が決定するが、競技順は変更しない。
3. 開催校枠の出場選手は、地区大会に出場した選手に限る。
4. 各種目の番組編成は、日本陸連競技規則により主管陸協と開催校の責任で行う。各校にはその結果を通知し、誤字などの訂正を受け付ける。編成上の問題点については、専門部委員長あるいは専門部が判断し決定する。なお、日本陸連規則の「**最近の記録**」は**シーズンベスト記録**である。**資格（参加）記録はこのシーズンベストを記入する**。シーズンベスト記録とは、その年の1月1日からエントリー締切日までとする。なお、公認記録が無い場合は、参考記録（例：参11.08）を必ず記入すること。
5. 予選の組分けについては同一校の選手を同一組にしない。また、同一組に同一地区が入ることは考慮しない。
6. 専門部会議では次年度大会についての審議を行う。
 競技に関する問い合わせ：専門委員長 内山了治（長野高専）E-mail：info@kosen-rk.jp
 (@を一つ削除し送信して下さい)

以上

1日目 8月26日(土) 開会式9:15 (開場午前7時30分、閉場 午後6時00分)

【トラック競技】

順序	競技開始	性別	種目	ラウンド	出場数 (人/チーム数)	組数・予選通 過基準	招 集	
							開始	完了
1	10:00	男	4×100mR	予選	24	3組2着+2	9:30	9:40
2	10:25	女	800m	予選	16	2組3着+2	9:55	10:05
3	10:40	男	800m	予選	24	3組2着+2	10:10	10:20
4	11:15	男	110mH	予選	24	3組2着+2	10:45	10:55
5	11:40	女	100mH	予選	16	2組3着+2	11:10	11:20
6	12:00	男	200m	予選	24	3組2着+2	15:00	15:05
7	12:20	女	200m	予選	16	2組3着+2	11:50	12:00
8	13:00	男	110mH	決勝			12:30	12:40
9	13:15	女	100mH	決勝			12:45	12:55
10	13:30	男	200m	決勝			13:00	13:10
11	13:45	女	200m	決勝			13:15	13:25
12	14:05	男	400mH	タイムレース決勝		2組	13:35	13:45
13	14:30	男	800m	決勝			14:00	14:10
14	14:45	女	800m	決勝			14:15	14:25
15	15:05	男	4×100mR	決勝			14:35	14:45
16	15:25	女	4×100mR	※予選		2組3着+2	14:55	15:05
17	16:00	男	5000m	決勝	24		15:30	15:40
18	16:35	男	4×400mR	予選		3組2着+2	16:05	16:15

※ 得点対象のため、学校(キャンパス)単独チーム以外は決勝に進出できない。

[オーダー用紙提出〆切: 男4×100mR 予選8:40、決勝13:45、女子4×100mR予選 14:05、
男4×400mR 予選 15:15]

【フィールド競技】

順序	競技開始	性別	種目	ラウンド	出場数(人)	招 集	
						開始	完了
<跳躍競技>							
1	10:10	男	走高跳	決勝	24	9:10	9:30
2	11:00	男	走幅跳	決勝	24	10:00	10:20
3	11:30	男	棒高跳	決勝		10:10	10:30
4	13:10	女	走高跳	決勝		12:10	12:30
<投擲競技>							
1	11:50	女	円盤投	決勝		10:50	11:10
2	14:00	男	円盤投	決勝	24	13:00	13:20

2日目 8月27日(日) 閉会式14:30 予定 (開場 午前7時00分)

【トラック競技】

順序	競技開始	性別	種目	ラウンド	出場数 (人/チーム数)	組数・予選通 過基準	招 集	
							開始	完了
1	9:30	男	400m	予選	24	3組2着+2	9:00	9:10
2	9:50	男	1500m	予選	24	2組5着+2	9:20	9:30
3	10:15	女	100m	予選	16	2組3着+2	9:45	9:55
4	10:25	男	100m	予選	24	3組2着+2	9:55	10:05
5	11:00	女	3000m	決勝			10:30	10:40
6	11:30	男	400m	決勝			11:00	11:10
7	11:45	女	100m	決勝			11:15	11:25
8	12:00	男	100m	決勝			11:30	11:40
9	12:30	男	3000mSC	決勝			12:00	12:10
10	13:00	男	1500m	決勝			12:30	12:40
11	13:45	女	4×100mR	決勝			13:15	13:25
12	14:00	男	4×400mR	決勝			13:30	13:40

[オーダー用紙提出〆切: 女4×100mR 12:25、男4×400mR 12:40]

【フィールド競技】

順序	競技開始	性別	種目	ラウンド	出場数(人)	招 集	
						開始	完了
<跳躍競技>							
1	9:45	男	三段跳	決勝	24	8:45	9:05
2	12:15	女	走幅跳	決勝	16	11:15	11:35
<投擲競技>							
1	9:35	女	やり投	決勝		8:35	8:55
2	9:40	男	砲丸投	決勝	24	8:40	9:00
3	11:20	男	やり投	決勝	24	10:20	10:40
4	11:50	女	砲丸投	決勝	16	10:50	11:10

1. 競技規則について

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場、練習場及び練習について

- (1) 本陸上競技場(メイン)は、IAAF(国際陸連)Class-2に認証されており、レーン幅(1.22m)やマーキングは国際規格である。スタートラインやリレーゾーンのマーキングは国内仕様と異なるため注意すること。
- (2) 練習は審判員の指示に従い安全面に十分注意すること。投てき練習は、監督・コーチ等が必ず付き添うこと。
- (3) 本競技場と補助競技場での練習については次のとおり可能である。投てき種目は全て補助競技場を使用すること。

両競技場の開場 / 閉場時刻		8:30 / 18:00	7:30 / 18:00	7:00 / 17:00	
場所・制限等		使用区域等	前日 25日(金)	1日目 26日(土)	2日目 27日(日)
本(メイン)競技場 日本陸連第1種 IAAF Class-2 ・投てき練習禁止 ・フィールド可能	1~2レーン 中長距離	走高跳 : Bゾーン 走幅跳 : メイン側	7:30~8:45 棒高跳 7:45~9:10	7:00~9:00	
	3~6レーン 短距離 7~9レーン ハードル	9:30~11:00, 12:30~15:00 三段跳 : メイン側 11:00~12:30, 15:00~17:30 棒高跳 : バック側	競技終了後~17:30		
補助(サブ)競技場 日本陸連第3種 ・フィールドは投てき専用とする	1~2レーン 中長距離	9:00~17:30 砲丸投 9:30~17:30 円盤投 9:30~11:30	7:30~17:30 M走高跳 8:00~9:20 M走幅跳 8:00~10:10 砲丸投 8:00~17:30 W円盤投 9:00~11:00	7:00~16:00 Wやり投 7:30~8:45 M砲丸投 7:30~8:50 三段跳 7:30~8:55	
	3~6レーン 短距離 7~8レーン ハードル	13:30~15:15 やり投 11:30~13:30 15:15~17:00	W砲丸投 9:00~11:00 W走高跳 9:40~12:20 W走幅跳 10:30~17:30 M円盤投 11:30~13:10 三段跳 14:00~17:30 やり投 15:30~17:30	Mやり投 9:00~10:30 W砲丸投 9:00~11:30 W走幅跳 9:10~11:25	
雨天走路 ・一方走行とする	入口→100mS 方向へ走行	使用可能	出場競技者のみ可能 応援等は不可	出場競技者のみ可能 応援等は不可	

3. 競技者案内所(TIC)について

競技者案内所(TIC)を競技場正面入口1階ロビーに置き、次の業務を行う。

- (1) 各種問い合わせ、公認記録証(1件500円)の受付、抗議と上訴の受付、クレーム、落とし物の取り扱いなど。
- (2) プログラムの記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属等)の取り扱い(プログラム巻末の訂正用紙を提出する)。
- (3) ポールの輸送の受付。
- (4) プログラム(1冊700円)、日本高専記録集2015・2016年度版(各1冊700円)の販売等。

4. 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクピンの数は11本以内とし、長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。

5. 競技者の招集方法について

- (1) 招集所は100mスタート地点側の器具庫内に設ける。
- (2) 各種目の招集時刻は、競技開始時刻を基準として下記のとおりとする。

	トラック競技	棒高跳	棒高跳以外のフィールド競技
招集開始時刻	30分前	80分前	60分前
招集完了時刻	20分前	60分前	40分前

- (3) 招集は招集所で、招集完了時刻までに競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード、競技用靴、腰ナンバー標識(6.(2)の該当競技者のみ)、バックの中身、及び商標等の確認と点検を受けること。
- (4) 代理人による招集は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集時に競技者係に備え付けの「2種目同時出場届」を提出すること。届け出が完了すれば、第2種目の招集を事前に受けることができる。
- (5) 棄権をする場合は、本人または代理人が必ず競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を

棄権したものとみなす。

- (6) 競技場内への入退場は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行う。また、出場する競技者以外は競技場内に入らないこと。
- (7) リレーのオーダー用紙は、予選、決勝とも招集完了時刻 60 分前までに招集所競技者係へ提出すること。

6. ナンバーカードについて（競技規則第 143 条 7・8・9・10 を厳守）

- (1) ナンバーカードは折らずに胸と背部に確実に固定すること（跳躍競技については胸または背部どちらかでもよい）。
- (2) トラック競技の出場者（リレー競技は第 4 走者のみ）は、腰ナンバー標識を使用する。腰ナンバー標識はパンツ右側の上部やや後ろに付けること。また、3000m 以上の競技者は、胸と背に同じナンバーカードを付けること。これらのカードは招集の際に競技者係で受け取り、フィニッシュ後にその場で返却すること。カードを受け取っただけでは、招集完了とならないので注意すること。

7. 競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (2) トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- (3) スタートの合図は英語で行う。（「 On your marks 」、 「 Set 」）
- (4) 不正スタートについては、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする（規則 162 条 7 参照）。また、400m（4×400m を含む）までのトラック種目ではスタート・インフォメーション・システムを用いる。
- (5) ハードルの高さとしてき種目の重さについては以下のとおりである。

ハードル種目の高さ	男子	110mH 1.067m	400mH 0.914m
	女子	100mH 0.838m	
投てき種目の重さ	男子	砲丸投 6.000kg	円盤投 1.750kg やり投 0.800kg
	女子	砲丸投 4.000kg	円盤投 1.000kg やり投 0.600kg

- (6) 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も同じレーン（曲走路）を走ること。
- (7) 予選のあるトラック競技の決勝のレーン順は、招集所の掲示板にて発表する。
- (8) 男子 5000m 競走では、気象状況に応じて、バックストレート側に給水を用意する。
- (9) リレー競技について（競技規則第 170 条）
 - 1) メンバー編成は、予選・決勝とも 2 名はリレーに申し込んでいる競技者でなければならない。それ以外の 2 名はプログラムに記載されている競技者であれば出場できる。決勝では 2 人以内に限り交代できる。
 - 2) 4×100m の第 2、3、4 走者が使用する粘着テープ（最大 50mm×400mm のマーカー）は、各地点の出発係から受け取る。これ以外のマーカーを置くことは許されない。
 - 3) 男子 4×400m の第 3、4 走者は審判員の指示に従い、前走者が第 3 コーナーのフラッグを通過した順に、内側より並んで待機する。その後この順序を維持し、バトンを受けるまで入れ替わることは認められない。違反した場合は、そのチームを失格とする。
 - 4) 女子 4×100m については、同一校・同一キャンパス以外のチームは決勝に進出できない。
- (10) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (11) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の 1 人となるまでは以下のとおりとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更する場合もある。

種目	練習の高さ	1	2	3	4	以降
男子走高跳	1m70/任意	1m80	1m85	1m90	1m95	以降 3cm ずつ
女子走高跳	1m30/任意	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3cm ずつ
男子棒高跳	3m30/任意	3m40	3m50	3m60	3m70	以降 10cm ずつ

※第 1 位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳 2cm、棒高跳 5cm とする。

- (12) 男女走幅跳、男子三段跳はメイン側 1 ピットで実施する。
- (13) 男子三段跳の踏切板は砂場から 12m の地点に設置する。ただし、天候などの状況によって、変更する場合がある。
- (14) 男子砲丸投と円盤投の記録公認については、高校・U20 規格を使用するため、2017 年 12 月 31 日現在で 19 歳を超える競技者の記録は公認されない。但し、日本高専記録及び大会記録は認めるものとする。
- (15) 競技者がトイレ等で競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。

8. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし棒高跳用ポールは、個人

所有のものを使用できる。

- (2) 投てき用具については、公表された競技場備え付け用具リストにないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始 40 分前までに 100m スタート側器具庫内で検査を受けること。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後に担当競技役員がフィニッシュ側器具庫内で返却する。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。
- (3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを 2 個まで、サークルからの投てき種目では 1 個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

9. 競技者に対する助力について（競技規則第 144 条）

- (1) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。（競技規則第 144 条 3. (b)）
- (2) コーチ等からの助言は競技場区域外のコーチングエリアのみとする。その際、そこで録画した映像を見せることは助力にはならないが、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。
- (3) 雨天走路は出場競技者のみが使用できる。監督・コーチ等の立ち入りは禁止する。また、この場所での応援等は禁止する。

10. 抗議と上訴について

抗議と上告は競技規則第 146 条により行うこと。競技の結果または競技実施及び競技の行為に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後 30 分以内、次のラウンドがある場合は 15 分以内に、その種目に出場した競技者自身または代理人が TIC に口頭で申し出ること。問題が生じた場合には先ず各地区の専門委員に相談すること。

11. 表彰について

各種目の 1 位から 3 位の競技者には賞状とメダルを、4 位から 8 位の競技者には賞状を授与する。入賞した競技者（代理可）は、競技終了後直ちに表彰を行うので、正面玄関ポーチの表彰控え室に集合し、表彰係の指示に従うこと。表彰時の服装はユニフォーム（気温が低い場合等は上半身のみでも可）が望ましい。

12. その他

- (1) 競技結果の正式発表は、スクリーン並びにアナウンスで行う。また正面玄関入口右側に掲示するが、各校への配付は行わない。Web 上にも速報を掲載する。
- (2) 競技中の負傷については医務室にて応急処置を行うが、その後の処置は各校の責任で行うこと。
- (3) 競技場内通路及びメインスタンドでの集団の連呼応援は禁止する。部旗、横断幕等の掲出は、メインスタンドとサイドスタンド、バックスタンドの最前面の柵以外は可能である。
- (4) テント設営については、メインスタンド以外は可能である。
- (5) 各校の場所取りについては 8 月 25 日（金）開場以降可能である。更衣室及び雨天練習場での場所取りは禁止する。必要以上の面積を確保することがないように、参加各校が平等に競技に臨めるよう配慮する。
- (6) ゴミは配付されたゴミ袋に入れ、最終日にまとめて正面玄関入口掲示板横の軽トラックの荷台へ置くこと。注文した弁当の空き箱は正面玄関入口左側の引き取り場所へまとめて置くこと。
- (7) 出場競技者の関係者並びに報道各社を除き、競技場内、スタンド、補助競技場等でのビデオ、写真撮影は禁止とする。また、下記についてご協力をお願いします。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、次のとおりご協力をお願いします◆

1. 保護者および競技者本人の了解がない撮影を禁止します。ご関係の皆様には「撮影許可」証を発行します。許可証をご希望の方は、TIC 横にて受付をお願いします。各高専には監督会議にて 2 枚ずつ発行します。
2. 観客席での撮影禁止エリアは次のとおりです。【撮影禁止】のカードとテープでエリアを区画します。許可証を持参の方もこのエリアでの撮影は禁止します。
 - ◎各種目のスタート後方
 - ◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◎走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
3. 「競技者等に著しく迷惑をかける行為である」と主催者が判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡します。